

関西大学校友会 堺支部会報

発行所
〒590-0945 堺市堺区戎之町東4丁1-16
鍋島均志方
関西大学校友会
堺支部
電話 072-284-1412

<http://www.ku-sakai.org>



▲ 堺市役所21階より反正陵を望む

反正陵

北三国ヶ丘町にある前方部を南に向けた前方後円墳です。

百舌鳥古墳群の中では北端にあり、現在は百舌鳥耳原三陵の北陵・反正天皇陵として宮内庁が管理しています。

反正陵は比較的規模が小さいので、田出井山古墳と呼ぶ説と仁徳陵、履中陵に次ぎむしろ規模的に大きいニサンザイ古墳を反正陵と呼ぶ説もある。

シャープとソニーが来年度をターゲットに世界最大の巨大な液晶プラントを建設中。堺市臨海の大和川南岸近接地域で市街地よりかなり距離がある。これにより関連の特需が期待される。4月頃より建設現場の北側にはサッカー・ナショナル・トレーニングセンターの工事も始まる。LRTも開通予定である。

(撮影・高沖武)



▲ 建設中のシャープ堺工場

更なる支部の発展を祈る	2	校友の近況 (シリーズ3)	8~12
東西南北	2	堺支部のあしたの「天気図」あれこれ	8~10
平成19年度支部総会	3	ソーラーカーレースに参加して	10~11
堺市役所関友会の近況	4	最古の堺県の高札を発見	11~12
我がが校友の事業所訪問 (シリーズ3)	4・5	行事報告	13~16
四季悠々	6・7	他支部との交流	14
堺NOW	8	堺・うまいもんめぐり (シリーズ3)	17

更なる支部の 発展を祈る

支部長 天井 一夫



新緑青葉の爽やかな良き季節となりました。堺支部の会員の皆様ならびにご家族の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は堺支部の運営につきまして格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、衆知のごとく今年になって、「母校関西大学が、堺市に進出決定」というニュースが新聞紙上に発表され、堺市に在住の校友にとって大変うれしい話題で、誠に同慶の至りでございます。

昨秋よりこの問題を注目してまいりましたところ、堺市の公募にたいして今年の1月中旬ごろには、本学の他に近畿大学はじめ計4学校法人の応募があり、特に近畿大学が積極的に攻勢をか

けて来ているとのことでした。今年1月15日の校友会本部主催の新年互礼会で森本理事長が新年のご挨拶のなかで、関西大学の新規事業の一環としてこの問題に触れられ、「来る1月28日の堺市のヒアリングには、私と河田学長が出席してこの問題について説明します。」との心強いご挨拶がありました。

その後、この問題の成り行きを心配してまいりましたところ、去る2月4日の新聞紙上(毎日新聞朝刊)で「関大、堺に新学部 10年春に健康文化学部」という記事が掲載されました。続いて3月1日付、堺市の「広報さかい」は、その3面に市立商業高校・第二商業高校校地の利用について、審査委員会で「優先交渉権者に関西大学、大学等高等教育機関の設置」という見出しの記事が大きく掲載されました。

関西大学が、平成22年春

に「健康福祉」「スポーツ・身体文化」「健康とユーマア科学」の3つ領域他を設置するということで、本学と近畿大学とが激しく競り合うなか、前述の1月28日におけるヒアリングでの森本理事長ならびに河田学長の熱意ある陳述が、堺市側に伝わった結果であると思

います。わが街に関西大学の新学部が進出するということは、堺市在住のわれわれ校友にとって大変誇りに思うと同時に、今後校友会堺支部も何らかのお役に立つことが出来れば幸いです。

次に、関西大学校友会は、本部のホーム・ページによりますと、明治30年12月に大阪天満の「相生楼」で開催された総会が校友会の誕生であるということで、以来110年の歴史があります。その支部は、旧大阪支部のほか大正末期に東京、岡山、福岡などの支部が結成され、続いて昭和5年の校友名簿には、東海、神戸、明石、姫路、愛媛など10支部の記録が残されているとのこと。また、現在、校友会の地域支部は125支部あり、わが堺支部は、

昭和16年2月22日に堺の「大浜公会堂」で、故岩崎卯一郎先生(元学長、法博、名誉教授)をお迎えして創立総会が開催されてから、今年で67年目になります。

支部活動の月例懇親会「関親会」は、昭和60年7月創設以来去る5月の例会で第227回を迎えて参加者も増え、支部ゴルフの会「関球会」(河面愛彦会長)及び史跡めぐりの会「逍遙の会」(小川耕二会長)もともに年々参加者が増加しています。

今後は、今まで以上に校友会本部の行事に積極的に参加し、近隣各支部との交流を更に深めていきたいと願っています。

来る6月21日(土)の支部総会は、役員改選の重要議題もございますので、支部会員の皆様には、公私ともご多忙のことと存じますが、年一度の支部総会でございますので、是非万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。なお、併せて今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

東西南北

武力にまで発展した。その象徴的な事件が「日」VS「唐」の戦い、元寇襲来と倭寇の逆襲、豊臣秀吉の朝鮮出兵、日清戦争、日中戦争等正面对決であった。◆宗教的には中国は儒教文化であり、日本は神仏集合体である。このような日本、中国の事情を見る時に、日中友好関係はどのように展開していくのであろうか。日本が中華文明を拒否したのは遙か昔の遣唐使の派遣を取りやめて以来、中華文明に対する関心が薄れてしまったのではないか。島国の文明と大陸文明の相違からではなく、日中対等なつき合いがあり得ないからである。◆一衣帯水と言われる日中関係にあって、子々孫々までの友好を唱えながらも、虚しい願望に終わってしまうかも知れない。その難しさを克服して、東アジア地域の平和の為に友好的関係を築き上げていかなければならない。一衣帯水という言葉だけで問題が片づくものと思うほど甘いものではない。日中兩國の友好関係は共に利益が相互に得られるものでなければなら

る。日中関係で両国は一衣帯水の間柄と言われている。中国古書によれば「一衣帯水とは一本の帯の束のような狭い川や海峡を隔て、近接しているさま、近しい関係にたとえて言う」と記されている。両国は容易に理解し合える間柄と思われるのではないだろうか。◆「天に二日なく、地に二王なし」と言う中華思想秩序は東アジアの中華の天子と北狄(北部の少数民族の総称)の不動の国際関係を築いてきた。古代中国の歴史は、中国と我が国とは中華思想の国と海を隔てた東夷の關係に過ぎない。日本は、政治、軍事、経済力支配の及ばない地域に過ぎなかった。日本には中華文明を拒み続けてきた歴史がある。遣隋使以前から既に中国に対して日出ずる国という姿勢を崩していなかった。和魂漢才と言われる時代もあったが、その時代以前から拒否していたと記されている。◆文化鎖国、開放よりも陸禁、海禁の国であった。長い兩國の歴史は中国の背後にある中華思想によって遂には

平成19年度 堺支部総会



平成19年度総会（於・南海グリル）

平成19年度 堺支部総会が開催

平成19年度堺支部総会が6月16日(土)午後4時より南海グリル東店において開催された。

第1部の講演は、産経新聞大阪本社販売局の鴨頭光一氏による『新聞について』をテーマとしたもので、取材の裏話等を交えたお話に一同大変興味深く聞き入った。

津、河内長野各支部の代表が出席のもと、総勢60余名が参加して開催された。総会は、学歌斉唱に始まり、物故者に黙祷、支部長挨拶の後、来賓を紹介し、片山久江校友会副会長より祝辞を頂戴した。議事に進み、平成18年度の会務報告、会計報告が行われ、満場一致で承認された。

参加者一同カードを手に、番号を読み上げるたび、一喜一憂し、大いに盛り上がった。その後に、また恒例となったオークションが行われ、ご供出頂いたブランドのアクセサリーや、鉢植えの胡蝶蘭、ブランド焼酎等々の商品が、格安で落札され、大変賑やいだ。最後に、全員が肩を組み、元応援団団長の奥田恵造氏の指揮の下、逍遙歌を合唱、盛況の中、散会した。



鴨頭氏の講演



オークション風景

堺市役所関友会の近況

関西大学校友会堺支部の会員の皆様方には、平素より、堺市役所関友会にご支援ご協力をいただきまことにありがとうございます。また、昨年の総会には天井支部長をはじめ役員の皆様にご臨席いただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、堺市では、政令市移行3年目を迎え、世界に誇る歴史遺産「仁徳陵古墳」をはじめとする百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録に向けた取り組み、シャープ株式会社との堺浜への進出、LRTの整備など、マスコミに取り上げられる機会も増加してまいりました。

なかでも、堺市立商業高等学校・第二商業高等学校地に関西大学が(仮称)健康文化学部、定員1200

名の新キャンパス開設に向けて協議を進めていることは、われら関大OBにとつて母校とのつながりが一層増していくものと期待しているところ です。

折りしも、来年、堺市役所関友会は、結成50周年を迎えます。母校の堺市への進出にあわせて、堺支部との連携をより強固なものとし、新たな校友会活動を進めてまいりたいと考えておりますので今後ともよろしくご支援ご協力をお願いいたしますとともに、関西大学校友会堺支部のますますのご発展をお祈り申し上げます。

堺市役所関友会会長

曾根 政美

堺市に関大新学部開設

南海高野線、浅香山駅東側にある堺市立商業高校・第二商業高校の跡地利用について、堺市は関西大学と3月に基本協定を結んだ。

関西大学は二〇一〇年四月開設をめざす。定員二〇〇〇人の健康文化学部(仮称)を置く予定。

我らが校友の事業所訪問

(シリーズ③)

社会福祉法人 美和会

ケアハウス美和

依田さんと去る3月27日同ホームを訪問し、中井理事長よりいろいろお話を伺いました。

早速、1階奥の立派な応接間に通されて、先ず、ケアハウス美和の建設理念をお聞きすると高齢者の理想郷とは何か「心」「人」「施設」からなる。すべての生物が太陽の光を求めて、豊かな包容力を与える自然界の法則に従い、健康で明るいそして和やかで美しい第二の人生を強く踏み出して頂くその願いをこめて「ケアハウス美和」と名付けられたそうです。

そして日頃の利用者へ接する従業員への教育指導理念としては

一、「心」：「本音」を以て常日頃接すること。

二、「人」：入居者に対し、「温情」を以て接すること。

「施設」としては、入居

者が外から帰宅したときは先ず、ロビーでやれやれとホッとします。そして各部屋へ次いで大浴場へそれからゆっくりと食事を摂っていただける様に心がけています。

また、当施設はゴールドプランで策定された「新しい

い型の軽費老人ホーム」であり、独立した居室で生活しながら、食事・入浴その他生活全般につき、安心して生活ができる国の方針にも沿うものだとのことです。

因みに施設の応募概要は先ず、ケアハウスは定員50名で独立した生活を送ることが困難な人のための公的な施設で年収に応じて利用料金が異なります。

例えば、均等にかかる月額1万2000円の環境整備費を除いて年収150万円以下の人で生活費と事務費を含めて月額5万4810円から年収310万円未満の人で13万6810円までの6段階になっているようです。

ほかに、指定通所介護は所謂デイサービスとして日に20名まで受け入れて、入



ケアハウス美和



中井理事長



本社ビル



葛村社長

株ダイネツ

浴、食事の提供などの日常生活上の世話や機能訓練などを行い、また、要支援者にはケアマネジャーの介護保険の利用計画に基づき、訪問介護も行っているそうです。

なお、当施設の特徴とし

ては各部屋の広さ22㎡は国の基準を上回り、ゆとりがあり、各部屋にシャワールームもあり、天井が一般より20cmも高いので部屋が大きく見える。勿論、車いすが移動可能なようにバリアフリーになっており、各通路

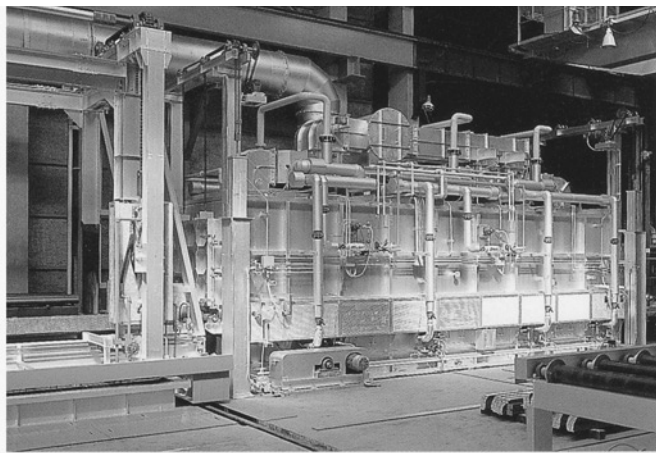
の電光は最近流行の部屋に入ってしまったら、自然に消える仕組みになっているそうです。
所在地 堺市南区三木閉57
理事長 中井 敬氏
(昭26年法卒)
(福江 記)

進出し、グループ内3工場

において、ローラーハース炉、フオークチャージャー等特徴的な炉を数多く保有しており、蓄積されたノウハウと充実した設備、独自の一貫したシステムのもと一般熱処理加工及び表面

熱処理加工で業界のトップを走る企業です。
ダイネツグループの代表である葛村和正氏(昭和51年工卒)は、関西大学理工系3学部開設・工学部創立50周年記念事業実行委員会顧問を務められておられ、大学の発展に貢献されています。

葛村和正氏の祖父7代目葛村安兵衛こと葛村啓一郎氏は、当時画家として有名で、啓一郎氏の絵画は、堺商工会議所にも展示されており。また、昭和44年には、パリの国際8ミリ



工場内

ローラーハース式連続焼入炉

映画祭に入選され、当時の新聞にも掲載されて、現在では、堺博物館に寄贈されています。

和正氏のご息女は、現在関西大学第一高校に在学中で、和正氏は、教育後援会会長を兼務されており、多方面でご活躍されています。

また、本社

には、毎年1月には、今宮戎の福娘がご挨拶回りに来られるとのことです。

(中尾 記)

株式会社ダイネツ
〒590-0930
堺市堺区柳之町西3-3-1
TEL
072-2229-0223
<http://www.dainetsu.co.jp>



今宮戎の福娘と従業員一同

第21回逍遙の会に参加して ウォークで感じたこと

「風薫る古くて新しい町・堺の歴史の遺産を尋ねて」のテーマにふさわしく、今日は、終日降りしきった昨日とは打って変わって清々しいウォーク日よりであった。

まず、小川会長、天井支部長の挨拶に続き、本日のゲストスピーカーである堺市ボランティア協会の村田さんによるコース説明が終ると、早々に我々15人のパーティーは駅前銀座商店街を通り抜け、まず阪神高速の下の今は埋め立てられている土居川公園を北へ進む。本尊裾取地蔵尊は女性の下の病を治すという面白い言い伝えのある「超善寺」や泉陽高校前の元武将の菩提寺であったという日蓮宗の「興覚寺」などを見学。

災害時に備えてこの公園地下に埋設されている防火水槽や移設されたという石製の「極楽橋」の説明などを受けたりして、阪神高速道路の下を右折し、東へ府道13号線を横断。そして南海高野線を跨いで、刑務所のある田出井町に出る。

その昔、阿倍野王子から3km毎に置かれていたというこの「境王子跡」は99王子の5番目になるそうナ



境王子跡

そして南に進むと碁盤の目に整地された住宅街を通り抜けてかの有名な「方違神社」(ホウチガイともカクタガイとも読むそうナ)へと進む。昔、摂津、河内、和泉の三国の何処にも属さない、方位のない清地であったらしい。悪い方位を祓う(方災除)として普請、転宅、旅行の際のお祓いで有名。

そしてその背中合わせにある反正天皇陵の西側を更に南進し、堺東駅の東側辺りにある堺で初めての曹洞宗の寺「紅谷庵」を見学。また、大和川から浅香山浄水場そしてこの貯水池を経た家庭へ水を供給していたという「旧天王貯水池」、そして旧三丘会館等々詳細

に説明を受けた。



仁徳陵にて

昔、寺町への参道であったという「けやき通り」を更に南進して旧大道の竹内街道と中央環状線の陸橋を横断してから、表面積世界最大の古墳であり、全長400m余の広大な「仁徳陵古墳」へ。その北側の後円部に辿り着く。3km弱もあるという外周の西側を南へ。ちょうど前方後円墳の中心に百人一首の歌碑のある「初霜坂」や「仁徳天皇のお后である磐之姫命の万葉歌碑」などの説明を受け、また、右奥に府立大学と併合された大阪女子大学の学舎が今夏にも、全廃になるなどの話を聞き、栄枯盛衰を夢見ながら、漸く御陵通へ出て仁徳陵の遙拝所前に着いた。

ここでここ専属のボランティアさんからこの三重の濠は日本唯一のものだそうナ。また、この正面から古

墳全体を眺めると恰も、頭を西に向けた仏の涅槃の姿に見えて感激一入。一番内側の濠の幅は何と50〜80mもあり、古墳の中へは舟で渡るそうナ、まるで夢のような話。



「いたすけ古墳」の狸

昼食後、南東方向にある「いたすけ古墳」へ。この濠には今を盛りとピンクの蓮の花が美しく咲き誇り感動した。そして南に左から回ってみると、何と仁徳陵から移ってきたという噂の4匹の狸がコンクリート橋が壊されて池の中に陥没している先端まで出てきて物乞いするいじらしさ。これは天皇陵でなく民間所有のものなので開発の手が伸びて一時は建設業者に売却の

噂が立ち、そのとき強力な市民の反対が起こり、開発は中止になり、今、堺市の管理下に。そして本日最後の史跡は東方向の「百舌鳥八幡宮」へ。ここは拝殿、中殿そして一番奥が本殿という構成で中殿と本殿は日光東照宮に似ている造りで立派なもの。また、正面の樹齢1000年のクスノキは布団太鼓をこの遙拝に通すのに太

い枝をその都度、毎年1mも持ち上げているそうナ。その裏側には、神仏習合の名残か、立派な真言宗犬鳴派の僧行基の開基による万代モズ寺があり、参拝させて貰った。

最終、堺市役所へ集合であったが、私は所用のため、次のその近くにある重要文化財・高林家住宅を最後に帰路に就いた。(福江 記)

逍遙の会 天橋立と蟹フルコースの旅

「日程」

平成19年11月17日(土) 18日(日)

「行程」

第1日目 堺東駅〜舞鶴道〜天橋立〜松井物産「瑞松苑」(昼食)〜笠松公園〜琴引き浜〜坂本屋瑠璃亭

第2日目 坂本屋瑠璃亭〜コウノトリの郷公園〜出石町(昼食)〜舞鶴道〜堺東駅

初日快晴に恵まれ、堺東をマイクロバスで午前8時45分に出発し、途中阪神高速堺線、同空港線、中国道、舞鶴道、京都宮津道を経て天橋立に正午すぎ到着、そこから昼食会場の松井物産「瑞松苑」に予定より少々遅れて、12時20分に着きました。



天橋立にて

この天橋立は、本夕方6時10分からのNHKニュース一番で、京都府が「世界



琴引き浜にて

遺産」として申請準備中であることを、懐かしい天橋立の写真をまじえて、大きく報道していました。再びケーブルに乗り下山し、遊覧船のり場へと向かい天橋立廻旋橋までの10数分、午後2時30分発の遊覧船からは天橋立の松林を左手に眺めながら、船尾からの「かもめ」への投げ餌は、童心にかえった思いで、大変思い出の深いものでした。次に向かった「琴引き浜鳴き砂文化館」では、今回の旅行の準備で大変お世話になった校友会京都支部の田茂井謙典氏も合流され、クツ、クツと鳴く「鳴き砂」の歌を聴きつつ、館長さんの懇切・丁寧な説明を拝聴しました。また、二階の展示室では、中国から漂着した注射針や韓国からのアドバルーンの飛来物等を見て驚き、「おとき話浦島伝説」も拝聴しました。同館の庭に展示されている北朝鮮か

ら漂着した小さな伝馬船二隻を見て拉致の問題、過日青森県に伝馬船クラスの小船で漂着した脱北者の問題等、複雑な思いをいたしました。さらに、館長さんに琴引き浜まで案内して頂き、薄暮の砂浜を寸時散策することが出来ました。残念ながら素晴らしい夕日を見る事が出来ませんでした。夕日の宿舎、夕日ヶ浦温泉「坂本屋瑠璃亭」に午後5時25分に着きました。ホテルでの懇親会では、堺から直接参加(日帰り)の古淵孝仁氏ならびに特別参加の田茂井謙典氏も加わり、食べ切れないほどのカニフルコースに舌鼓みを打ち、和気藹々のうちに宴席も盛り上がり、宴席の最後は恒例の「逍遙歌」を合唱し、お開きとしました。宴会閉会后、堺へ帰宅の古淵氏と地元田茂井氏に別れを告げて帰宅を見送り、宿泊者13名はそれぞれ各部屋に戻りました。

翌朝6時半ごろ雷の音に目を覚まし、ホテルの窓からまだ薄暗い目の砂浜をみると、昨日の晴天とは打って変わり、波荒く雨天となっており、冬期日本海側の急激な天候の変化を見せ付けられました。その荒波を利用して、サーフィンを楽しむに、驚きました。朝食後、午前9時にホテルを雨中出発し、次の目的地豊岡市にある「コウノトリの郷公園」に向かう途中、地元の鮮魚店で活きカニ、干しカレイ等の海産物を購入し、続いて178号線沿いにある久美浜の「白岩功果店」へ立ち寄り、高級梨・干し柿等の果物を購入、あたたかみを買ったツアアの如き楽しみを味わいながら、雨中「コウノトリの郷公園」に午前10時過ぎに到着しました。

コウノトリ文化館では、館員の飼育状況の説明を聞きながら、二羽のコウノトリが郷公園から飛んで行くのを見ることが出来ました。羽の幅が大きいもので2メートルもあるということでした。飛んでいるところは大変迫力がありました。同館玄関を入ったところにあるコウノトリのはく製の前で写真をとっておきました。次に、最終目的地の豊岡市出石町へと向かい、午前11時過ぎに到着しました。まだ雨降り止まぬ出石の町は、室町時代から続く歴史のある社寺の多い城下町で、出石町での観光は、先ず元和2年(1616)に当地で生まれた沢庵和尚が再興され、代々出石城主の菩提寺として崇拝されていたといわれている「宗鏡寺」を拝観しました。宗鏡寺は町はずれ東側の山裾に位置し、

山門を入り寺内右手にある庭園は沢庵和尚の作で、小雨降るなか紅葉が鮮やかな庭園を背景に、傘をさしての記念撮影や代々藩主のお墓、それに夢見の鐘で願いを込めて鐘をついたことは、とても印象に残りました。宗鏡寺の拝観を終えて、門前の駐車場に止めていたマイクロボスに再び乗り市街地へもどり、一旦車を食事処の出石そば「山下」へ移動・駐車し、午後12時に予約していた観光案内所へと向かい、相変わらず小雨の止まぬなか、中年の女性ガイド堀川さんのユーモアあふれる名ガイドで、約一時間のコースで出石中心街にあるシンボル「辰鼓楼」前を起点に出発し、城下町を観光しました。

堀川さんの説明で、出石の町の由来は西暦400年以來「古事記」および「日本書紀」にも出てくる古い町で、室町時代、戦国時代、徳川時代を経て近世明治に入り現在に至り、約1,600年余りの歴史ある由緒ある町ですが、現在の出石の町は右を向いても左を向いても、そば屋と社・寺ばかりというものでした。明治維新の立役者、桂小五郎(後の木戸孝允)が潜伏していた記念碑もあります。特に有名な「出石そば」は、宝永三年(1706)に信州上田の仙石氏がお国替えにより出石藩主に着かれたとき、お供として付いて来た信州のそば職人によって、その技術が伝えられたのが始まりということ。これは以前に私が地元の人に聞いた話ですが、そば店は最初3店ほどであったのが、現在では、約50店舗ほどになっているということ。次いで魚屋町、大工町を通り出石城跡に入り、そこでは出石が生んだ三偉人としての、堀川さんの自慢たっぷりの説明によると、まず、天保14年(1843)出石藩主の家に生まれた桜井勉は、天気予報の創始者で測候所も創設されたとのこと。また、幕末に幕府政治の改革を唱え、近代政治の基礎を作られたといわれているドイツ文学者の加藤弘之は、後に東大の初代総長になられたとのこと。さらに、城跡内西側にある立派



コウノトリの郷公園

四季 徳会

堺NOW

「日本各地から集まったクレーンが林立する堺市臨海部では…」といった紹介がされたのは、シャープ(株)堺工場についての過日のNHKのニュース。ヘリコプターの空撮では、昨年秋季に着工した工事は、すでに一部工場建屋が立ち上がり、その建築のスピードには驚かざるを得ない。隣接する『海とのふれあい広場』には、平日でも多くの人が現場視察?に訪れている。敷地面積127ヘクタール

(甲子園球場30倍以上の広さ)に、液晶パネルと薄膜太陽電池を生産するシャープ(株)とその関連会社14社が21世紀型コンビナートとして形成され、2010年3月までに第1期工場稼働する予定である。

液晶パネルの第1期生産だけでも、経済波及効果は年間1兆1千億円、雇用拡大効果は約1万人であり、また、工場立地に伴う堺市の税収効果は、10年間の累計で190億円、工場立地促進条例による税の減免が終了する11年目からの10年

間累計では約580億円の試算が示されている。工場に関連する道路や下水道などの基盤整備事業が必要であることから、税収効果すべてが純増とならないものの、雇用や生産関連需要などへの期待は大きい。また、工事期間および稼働後の交通問題などの解決を進める必要があるが、臨海部の新たな幕開けであることに間違いはない。

これらの新たな開発が進む臨海部と堺の中心市街地である堺東周辺地域、堺駅を結ぶ交通手段としては、次世代型路面電車(LRT)の整備が検討されており、4月にはその基本計画骨子が発表され、堺東駅と堺駅間は2010年度開業に向けて取組が進む。このことは、従来から南北方向に比べて弱いとされてきた堺の東西方向の交通軸の強化につながる。LRTは、自動車交通に対して環境に優しく、また、低床車両であることから高齢者や障害者にも優しい交通手段である。さらに、LRTを利用者の減少傾向にある阪堺線と相互直通運転することにより乗客確保が期待され、沿線での新たなまちづくりを誘導することになる。

一方、堺は、世界最大級の墳墓である仁徳陵古墳をはじめ、47基の古墳からなる百舌鳥古墳群を擁している。歴史と文化を継承するとともに、これを活かしたまちづくりの一環として、百舌鳥古墳群と羽曳野市から藤井寺市にまたがる古市古墳群を世界文化遺産に登録することをめざした取組が進められており、昨年9月には大阪府、羽曳野市、藤井寺市と共同で、世界遺産暫定一覧表への記載を文化庁に提案した。

堺支部のあしたの「天気図」あれこれ

昭和16年12月8日 トラトラトラ「我奇襲に成功せり」の暗号が空を飛び、太平洋戦争に突入した。

その年の2月に、東に仰ぐ三陵(反正・仁徳・履中)、西に輝く茅渚の海(大阪湾)

を眺め見る商工都・堺に、我等千陵の丈夫OBの堺支部が誕生した。諸先輩の血の滲むような努力によって、

関西大学校友会堺支部は現在に引き継がれております。この私達の堺支部は、

校友の近況

シリーズ③

新入会員紹介

の場一幸(昭31年法卒)

私は、この度初めて関西大学校友会堺支部主催の新年会に出席させて頂いて、非常に感銘を受けました。率直な気持ちを書かせていただきます。

私が関大を卒業して50年以上が過ぎました。私の職歴を披露いたしますと、関大在学中に伯父の紹介にて大阪船場卸問屋でアルバイトをしたのがビジネスの原点です。

デパートの営業セールスを拝命し、仕事が面白く自然な成りゆきで卒業と同時に社長に請われて入社しました。その後流通の大転換が到来しビジネスに対してのチャレンジ精神が芽生え深く関わりました。当時はダイエーの中内さん始め全

国的な流通の旗振りが台頭し時流変化に対応すべく生産流通の一役を担うべく決心しました。

昭和40年スーパー部門の開発若手リーダーとして量販店取引を開始しました。大量生産大量販売の旗印のもと、より良い商品をより安く提供するためメーカーの生産担当と同行し、生産基地確保のため韓国、台湾、フィリピン等低開発国を行脚し技術指導と人間関係を構築、言葉が通じないが信頼関係を築き飛躍的な業績を上げる事が出来ました。その経験ノウハウにより、その後消費者ニーズに合う原料デザイン品質機能性を加味し価格価値を設定、販売予測を立案してマーケティングトマーチャングを

実施しています。楽しいビジネス(次頁に続く)



コロンビア大氷原にて

①会員相互の親睦・交流・会員の資質向上を図る
 ②母校関西大学と地域の発展に寄与することを目的として運営されております。

この歴史と伝統の雲を晴天の空へ、あしたへの気流に乗せていくのが私達に課せられた任務の一つです。

昭和16年創立以来、六十有余年の主な活動を回顧してまいりますと創立総会(S.16. 2. 22) 大浜公会堂・第2回総会(S.17. 2. 28)・奈良ホテル・第

3回総会(S.18. 5. 2) 大浜公会堂・大阪初空襲(S.20. 3. 14)・堺空襲(S.20. 7. 8)終戦までに堺市域62%焼失戦後初の校友の消息調査(S.22. 6) 第4回総会(S.23. 8. 7) 堺商工会議所・再建世話人会(S.34. 2. 7) 会則制定(S.34. 9. 21)・堺支部会報創刊(S.61. 6)

創立50周年記念総会(H.3. 10. 27) 東京第一ホテル堺

創立60周年総会(H.13. 7. 20) リーガロイヤルホテル堺

その他の分野での活動は、堺の教職員初代会(S.54. 6) ホテル新東洋・ゴルフ同好会「閑遊会」結成(S.55. 12. 4)・史跡巡りの会「逍遙の会」発足(H.8. 5. 12 春夏年2回開催)・堺支部ホームページ開設(H.13. 6)・トークとグルメの味巡り「閑親会」発足(S.63. 6)・海外研修旅行「北京・上海」(H.4. 6. 4)「カナダ」(H.10. 8. 21)「ベトナム・カンボジアツアー」(H.15. 2. 27)

その他単発的事業として新卒生歓迎茶話会、総合情報部・高槻キャンパス見学会、愛知万博見学会、一泊懇親会グルメ&スキーツアー 支部会報編集発行の一環としての事業

ウォッチングサカイ・堺の歴史を訪ねて・第1回「環濠内の歴史」(H.10. 3. 9) 第2回「与謝野晶子の文学碑めぐり」(H.11. 3. 10) 第3回「埋蔵文化のタイムカプセル」(H.12) 第4回「泉北ニュータウン周辺の文化財」(H.

14. 4. 6) 第5回「大仙公園散策」(H.15. 4. 12)

思い出は語る(写真説明) 水河水のオンザロックで乾杯

世界から集う観光客の注目の中で千里山陵に届けとばかりの逍遙歌の合唱にカナダ・コロンビア大氷原の空気が揺れていた。

堺支部の歩みを思いっきりままに綴ってききましたが、その運営、明日への見通しは必ずしも順風満帆とは言えないと思います。支部財政の問題、メンバーの高齢化の問題、若年層及び女性の参加メンバーの少ない問題等の課題を抱えております。これに対処するにはどうすれば良いのか。魅力的な企画とは、また次に参加したいと思う企画はないのか、以上のことを年頭において夢を再度述べてみたいと思います。①二一〇回を超える閑親会を活用する。これは社会の各分野で活躍する皆さんの体験談、特に失敗談等を閑親会の冒頭に挿入するミニ講演の充実。②見学会とミニトークの企画については、関西空港大阪空港と競合し、JR新

ビジネスを継続して老後のライフスタイルを志向し企業営業顧問の重責を全うすべく企画生産販売のアドバイザーとして、若手経営者のサポートをさせていただいております。

関大校友会堺支部の各位と情報交換の為、積極的に懇親会&ゴルフ等に参加し交流を深めたく存じます。

今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

加藤嘉明(昭31年商卒)

新年会に出席の機会を戴き委員の方々のお世話になり有難うございました。大先輩から若い現役の方々と一堂に会する事は大変有意義な事でもあります。支部の活動も長く続けて来られた事にも敬意を表したいと思います。

天井支部長からは大学の近況を聞かせて戴き色々母校の発展は私達にも活力と勇気を与えて大変頼もしく思いました。会員の皆様全員の紹介もあり良かったと考えます。今回新会員紹介コーナーにこの事ですが、全員紹介コーナーがなくても良いのではないでしょう

か。会食は適当な料理が出て、まずまず良かったと思います。学生時代の思い出は明るくて皆が伸び伸びと過ごしていた様に思います。学問に友人とのつき合いにその当時は色々な方々との交わりがあったと思われます。卒業後は仕事に夢中になり、友人とのつき合いは年に数回会うのがやっとと言う状況でした。趣味はその当時はほとんど忘れていた様なものです。それでも、一時は能、ゴルフも経験しました。山登りも経験しました。現在は先ず健康第一に音楽等まだまだ希望はあります。体調その他を考え控えめにしております。

北村修治(昭46年文卒)

高校生と「堺の町」を学んでいます

「ものの始まり、何でも堺」と謳われた我が町ふるさと堺、関西大学校友会の新年会に初めて参加させて戴きました。現在、大阪府立堺東高等学校の国語科教師をしています。

この三月にて定年退職することになりましたが、四月から再任用にて今しばらく

(次頁に続く)

幹線と旅客の分捕り合戦を
展開中の平成18年2月26日
開港した神戸空港。その将
来と周辺地域に及ぼす影響
について等をテーマにした、
ミニトークと神戸空港と周
辺散策 母校関西大学の見
学等、社会、経済、教育問
題を考える企画を検討して
はどうだろうか。

さて、堺支部も発足以来
六十数年の歩みの中で多く
の人が来て、多くの人が去
りました。(鬼籍入りの人達
も含めて)それらの人達の
ことを思い出しながら、
母校関西大学は流石に法科
系大学が母体だという思い
が致します。昭和30年代前
半には、法曹界、警察関係、
官公界中心に大物OBが活
躍していました。我が堺支
部の天気図は、冬型の西高
東低の気圧配置も彼方に去
り、あしたの堺支部は円熟
期に入ろうとしています。
我が町堺も政令指定都市と
して発展しようとしていま
す。シャープが堺浜へ、関
西大学の新キャンパス(健
康文化学部開設)も堺市立
商業高校・第二商業高校の
跡地(堺区香ヶ丘町)へやっ
て来る。こんな大切な時期
です。皆さんの力を結集し

て、支部発展のため積極的
な活動を、努力を重ねてま
いりたいものです。素晴ら
しい組織を、明日に引き継
ぐためにも頑張りましょう。
(小川 記)

気分はF1GP 「ソーラーカーレースに参加して」

私が所属する大阪市大正
工業会の若手経営者(31名)
で組織する「モノ造り集団
若葉会」は、昨年創立50周
年記念事業としてソーラー
マシンを製作し、8月に開
催された「鈴鹿ドリームカッ
プ2007」4時間耐久レー
ス部門に初出場し完走を果
しました。しかし、我々は
機械加工や溶接技術等では
半導体装置をも作る小規模
ながらも技術レベルの高い
企業群ですが、ソーラーカー
にはズブの素人ばかりなの
で事業方針決定から8ヶ月
で、レースに出ようという
無謀なプロジェクトのため
設計製作チームは全国を駆
け巡り情報収集に努め、忙
しい中、度重なる設計会議
は試行錯誤の連続、正に苦
難の道でした。我社も装置
部品を手がけているのでハ
イテク技術を注力した部品
を多数提供、何とか5月に
はプロトタイプを完成させ

ました。ソーラーカーはレ
ギュレーションで、使用す
るソーラーパネルや搭載バッ
テリーなどが規定されてお
り、もちろん車検もあり安
全性を考慮の上で如何に軽
量化を図れるか、どこまで
摩擦抵抗、空気抵抗を軽減
できるかが勝負です。その
ため本番レースカーは各部
品を鉄製からアルミやチタ
ン製に変更、最高速90kmを
実現し、トップ10入りも狙
える高速マシンに進化完成
させました。スペックは以
下のとおりです。全長39
00ミリ、車幅1670、
全高1010、重量202
kg、フレームはアルミパイ
プ、ボディは発泡スチロー
ルカーボンファイバーシー
ト、ステアリングはラック



ソーラーカー (若葉号)

く現職を続けます。堺東高
校は普通科から総合学科に
移行して六年目、数多くの
ユニークな科目が設置され
ています。私は国語関連の
科目だけでなく「堺学系列
科目」を担当しています。
「堺学入門」「堺の歴史
と文化」「堺の町づくり」
は、堺から世界へ、世界か
ら堺へをモットーに国際
的な視野を広げるとともに、
ふるさとを発見する全国で
唯一の科目です。

一昨年の関大堺支部総会
にて講演をした井村氏と二
人で担当しておりました。
総合学科に転勤するきっか
けは、堺市の生涯学習養成
講座でした。現在は堺市生
涯学習交流サロンのスタッ
フをしております。生涯学
習と総合学習がライフワ
ークになっています。

関西大学では写真部に所
属していたのですが、入部
早々文化会本部に行けとい
うことで在学中はもっぱら
本部活動が中心でした。現
在では名称が消滅しており
ますが、「千里祭」や「千
里ミュージックフェスティ
バル」の実行委員を経験し
ました。「学部祭」や「合
同大学祭」より「千里祭」

ですよね。中之島のフェス
ティバルホールで開催され
ていた「千里ミュージック
フェスティバル」も懐かし
い思い出です。いつの日か
復活してほしいものと文化
会本部OBで構成していま
す「関大葦文会」では何度
も会合を持っています。今
春も「スプリング・フェス
ティバル」で再会する予定
です。

中野秀法(昭63年社卒)

これまで、関西大学の卒
業生である、という意識が
長い間かなり希薄でした。
そんな私が、今年は校友会
堺支部の新年会に出席しま
した。

そこで感じたことは、た
くさんの先輩方がいらして、
みなさんほんとうに、なん
と温かく、やさしく受け入
(次頁に続く)

&ピニオン、タイヤ14インチ、太陽電池11単結晶シリコン(総出力448W)、鉛バッテリー(電圧96V重量76kg)、モーター11ダイレクトドライブホイール型(最大5kw)8月4日スタッフの自信と不安が交錯する中、予選スタート。公式練習2周目で脱輪トラブル発生も何とか短時間で修復、順位も49台中22位とまずまず。さていよいよ翌日早朝炎天下の下、爆音をあげ決勝スタート!、いやウソです。ソーラーカーはエンジンないので静かなのです...と何と2周目にPHSからドライバーの悲鳴が「ハンドル操作不能!」信じられない緊急停止。ピットクルーが手伝いに行くと失格だ。モニターを見つめ祈る全スタッフ「俺達の鈴鹿は1周で終わるのか!」その時奇跡かドライバーの執念か(彼もモノ造りのプロです)「オリヤ」無理矢理外れたアルミラックを手で持ち上げ(前日の脱輪の衝撃でラックピニオンが外れかかっていたようです)修復し何とかトロトロ帰って来ました。エライ!帰れば修理もプロ集団。暑い中

応援に來られた区長も感動する手際の良さ、40分で見事にコース復帰を果し、最下位からのリスタートも、気持ち良く抜くわ抜くわ、何と25周で26台抜き23位まで順位を上げフィニッシュ!涙と歓声の中、チェッカーフラッグを受け、我々の「鈴鹿の熱い夏」は終りました。製作出場に際して各方面にはたいへんお世話になりましたが「地域との共生」を目指す我々に特に理解ある区長と港湾局は試走会に埋立地使用許可を頂き、区民祭りでは地元泉尾工業高校と共にパレード先頭を走り区民の皆さんの喝采を浴びました。ただ我々は「ソーラーカーレース」に出場する事だけが目的ではなく、このプロジェクトを通じ、厳しい時代や取巻く環境の中、歯を食いしばり頑張っている我々大阪の「中小零細企業」の仲間達と一つのモノ造りで一体感を感じ、地元区民の皆さんとも交流を深めたいと言う思いが強くあり、それがある程度達成できた事を喜んでいきます。区民祭りでパレードするマシンに歓声を上げ駆け寄った子供達のキラキ

最古の堺の高札を発見

ラした眼の輝きを我々は忘れて「浪速のモノ造り集団」れません。また我々の「鈴鹿への道」は終りません。「大正工業若葉会」は挑戦あの悔しい50分のロスタイムと忘れ物を取りに、そして

長嶺光生(昭50年法卒)

「浪速のモノ造り集団」の下根性を見せに今年も「大正工業若葉会」は挑戦あの悔しい50分のロスタイムと忘れ物を取りに、そして

長嶺光生(昭50年法卒)

郷土史家 藤田正弘氏

「高札(こうさつ)」を郷土

堺市に堺県庁が発足した

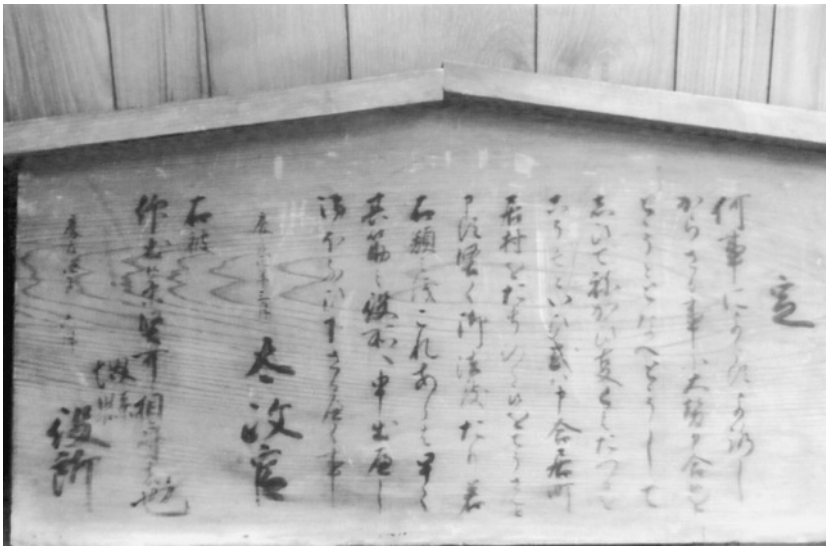
史家藤田正弘氏(昭40商卒)

幕末の慶応4(1868)

が発見し産経新聞(平成19年12月11日)に大きく取り

度とする禁令を墨書きした

上げられました。



堺最古の高札

れてもらえる、そんな場であると思えました。初参加でしたが、ずっと楽しく過ごすことができました。心から感謝いたします。ありがとうございます。

この日から、私に関大卒である、その伝統の流れの中に自分もいるのだ、という気持ちが出てきたと思います。

私は、昭和63年に卒業し、日興証券(現 日興コーディアル証券)へ入社しました。平成9年に円満に退職。同年、外資系の生命保険会社アリコジャパンへ転職し11年目になります。現在の仕事は、人の役に立つことをモットーに、お客様のさまざまな人生のステージでの問題解決、目標達成のために、生命保険を役立てていただくアイデアを提供しています。生きていけば、ま

会の集いは、私自身が関大の長い伝統の流れの中の一員にいたいというところを実感でき、とても心地のよいことです。気持ちの安定を与えてくれるものです。そして、私もそんなものを与えられるOBになっていきたいと思えます。今は関大卒である、という意識がはっきりとあります。本当に感謝しています。

これからもよろしくお願いたします。

小野佳代(平7年経卒)

堺支部の新年会では、とても楽しく、有意義な時を過ごさせて、いただきました。仕事上のアドバイスをいただいたり、貴重な経験をお聞かせいただいたり、本当にあっ!という間でした。

学生時代は、経済学部学園祭の実行委員をさせていただきました。3年生から、大原簿記専門学校に通い、勉強三昧の日々を過ごしました。とはいっても、ゼミ合宿、学園祭、スキー合宿...挙げればきりの無いほど楽しい学生生活でした。

そのような中で、私にとって新年会から始まった校友

ほとんど、アルバイトをし

堺県の高札発見

明治維新の混乱知る貴重な資料

～平成19年12月11日 産経新聞掲載～

堺市に堺県庁が発足した幕末の慶応4年(1868)6月に、集会などをご法度とする禁令を墨書きにした「高札(こうさつ)」が、同市内の郷土史家宅に保管されていることがわかった。堺県が発足年に設けた高札が確認されたのは初めてで、明治維新の混乱ぶりを知るうえで貴重な資料だ。(持田浩一郎)

高札は堺市南区榎塚台の郷土史家、藤田正弘さん(64)の所有で、最近、府内の古物商で見つけた。素材は杉の木とみられる木板(高さ49センチ、幅94センチ、厚さ3・5センチ)。

高札は中世ごろから多くの人が集まる市場や寺社などに高札場が設けられ、明治に入ったあとも続けられたが、印刷技術の発達などで明治6年、政府は高札による法令の公示を廃止した。

高札には、「定(さだめ)」との題名で「何事によらずよ路(ろ)しからざる事大勢申合候を…」で始まり、不法な集会▽大勢集まった強訴▽申し合わせによる他領に逃亡する逃散▽禁止を求めたうえ、情報提供者には褒美を与える密告を奨励

している。

文面終わりには、禁令を出した太政官(日付は慶応4年3月)の文字が入り、最後にそれを伝える堺県役所(同4年6月)が記されている。天領だった堺は早くから朝廷側に治められ堺県が発足したため、高札は朝廷を意味する太政官名で禁令が出されていた。

確認された高札は、何かを、もくろむ徒党について注意を呼びかけるもので、江戸時代からあった『徒党札』とも呼ばれている。

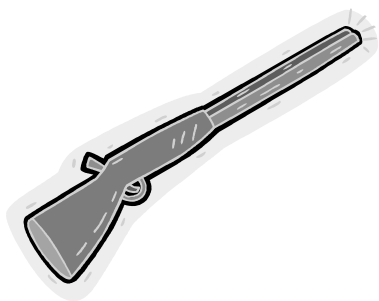
高札が掲げられた慶応4年6月は幕末から明治移行への動乱期。前年には堺に上陸したフランス兵を殺傷した土佐藩士11人が切腹する「堺事件」が発生している。

堺市博物館の矢内(やない)一磨学芸員は「堺県発足当時の高札はこれまで見たことがない。新政府なのに民衆が混乱しないように、江戸幕府の禁令をそのまま踏襲したのが興味深く、世相はかなり混乱していたのでしょう」と話している。藤田さんは近く、高札を同博物館に寄贈することにしている。

「解説」

廃藩置県は一般に明治4年7月と言われているが、実はもっと早く、江戸時代の終わりであり、近代日本の始まりである慶応4年6月です。この年は堺事件に代表される如く日本は大変動の時代で、堺も例外でなく相当混乱していました。

その中で堺県が発足したのです。今も最も大切な事は治安の維持ですが、堺県はまっ先にこの件の布告発令しました。但し、この時の堺県は極めて県域が狭く、この時の高札は博物館にも無く大変珍しい物です。その高札を幸いにして発見し新聞にも大きく取り上げられました。藤田正弘(昭40年商卒)



ない金食い虫でしたので、両親には申し訳なかつたです。

仕事は、堺区の宿院で、税理士事務所をしています。誠実に、仕事をするこゝろ、心がけています。研修会にできる限り参加して、新しい知識を習得するようにしています。

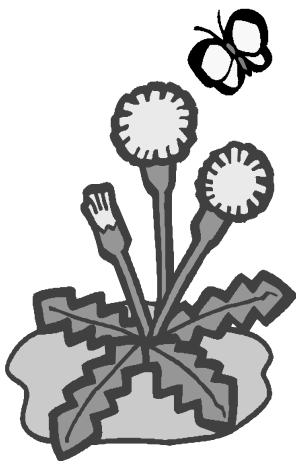
1年ほど前から、俳句を始めました。趣味と言えるほどではなく、歳時記(季節を表す言葉を集めた本です)とにらめっこをして、何とか、五七五を作っています。

ます。休日は、家族と過ごすことが多いので、子供のことを詠んだ句ばかりです。今後も、日記の代わりに、作り続けたいです。

堺支部の行事は、多彩な分野で活躍されている諸先輩方からお話を伺える貴重な時間です。次は、知り合いの関大卒業生を誘って参加したいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

紹介した新入会員の皆様は13ページの新年会の集合写真に写っております。



盛大に新年会が開催される



平成20年度堺支部新年会 (於：ホテル第一堺)

1月24日、堺支部の新年会(第223回懇親会)が初参加の校友の7名を含め総勢34名でホテル第一堺にて開催された。

天井支部長の挨拶があり、その後初参加の校友の自己紹介と出席者全員のスピーチがあり、宴は午後7時から開始となった。昭和19年卒業から平成9年卒業までの多彩な校友の参加で出席者一同大いに盛り上がり最後は逍遙歌で締めくくった。初参加の方々は現役で各界で活躍されておられ、今後堺支部のメンバーとして期待される。

(鍋島 記)

懇親会を開催

女子部

昨年11月18日(日)、ホテル第一堺に於いて、懇親会を開催した。今後、気楽に参加できる、今回のような懇親会を開催することを

継続していこうとすることとした。また、新しい会員に参加も促し、一同、再会を楽しみに散会した。

天満天神繁昌亭の

寄席鑑賞と懇親会

9月29日(土)、人気の『天満天神繁昌亭』の昼席を楽しんだ。ご夫妻での参加もあり30名の参加者で大いに笑い、生の落語を堪能

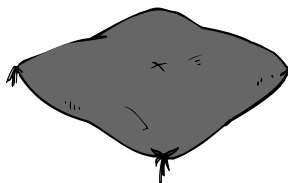
した。昼席を鑑賞後、繁昌亭横丁にある胡麻専門店『和田萬』さんの「胡麻ソムリエ」による「胡麻で健康ばったり講座」を一同で



「繁昌亭」前にて



胡麻専門店「和田萬」にて



聞き、胡麻の知識とこの天満天神宮付近の江戸時代の繁栄を知った。その後、西天満にある木造三階建ての趣のある料亭『にし富』にて、第220回懇親会を開催。一同、料理を堪能し大いに盛り上がり散会した。

(鍋島 記)

他支部との交流

関西大学校友会 平野支部
(田中 義信支部長)



平野支部が堺支部と交流させて頂きましたのは、当支部の椿本久夫前支部長が、貴支部の武田圭司様と校友会の支部対抗ゴルフコンペと一緒に、その際武田様が見事ホールインワンをされ、椿本氏がその見届け役をしたことがきっかけであると聞いております。

以後、貴支部とは、互いに支部総会への出席と、対抗ゴルフ戦をさせていただき、今年は大阪狭山支部も一緒に参加されるのとこととで、楽しみにしております。

皆様には多大なお世話になり、楽しい思い出ができたこと家族一同深く感謝しております。

さらに、貴支部は、女子部同好会とか月例懇親会等々を開催されて校友相互の親睦を図られている様子が、当支部としまして、是非参考に使わせていただきたいと思います。

に、当支部も昨年10月、丹波篠山へ「黒豆狩り」に家族参加で行って参りました。日頃、お顔を拝見しないご家族とも触れ合い、非常に楽しい一日でした。このように、ご家族や、また世代を越えたお付き合いができるのは、校友会の真髓であると思っております。

当支部と致しましては、貴支部とは、益々親交を深めて参りたいと願っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、お願い申し上げます。



京都支部総会に参加して

平成19年度関西大学校友会京都支部総会に、堺支部から小川・高松両副支部長と共に参加しました。

京都支部総会は、6月30日午後5時30分より、京都国際ホテル2階二条の間で開催され、ホテルは、二条城と堀と道路で隔てられています。城内にあるような静かな雰囲気です。さすがに「京都だ」と感ぜられました。

会場に入ると関大らしさがプンプンし、大学の多い京都から白亜の殿堂関西大で、学んだ勇士の姿に誇りと心意気で充滿していました。

第一部が総会で、物故者への黙祷・学歌斉唱に始まり、牧村支部長の力強い挨拶があり、引き続き議事に入りました。本年度は役員の変更があり、支部長に再選され、力強い今後の会運営の熱い思いと決意のご挨拶がありました。

第二部は、懇親会で、来賓の方々、京都在住の河田第一学長、一軸浩幸校友会長、横田健一名誉教授ご夫妻、廣田君美・高堂俊彌

両名誉教授と多数の名士が顔を揃えておられました。河田学長、一軸校友会長の挨拶で「強い関大」復活への取組の近況が述べられ、母校への思いと支援を新たにしました。

次に、校友会代議委員会副会長北嶋弘一教授の音頭で乾杯をし、祝宴に移りました。

祝宴では、ドイツの片田舎に在るような雰囲気のパイエルンブラス演奏で、乾杯を重ね宴は一段と盛り上がりました。

次に、ビンゴゲームにかえ、関西大学をイメージする言葉でマス目を、埋め楽しみながら、有志が提供した賞品を獲得すべく競い合いました。

結びとして、全員で肩を組み逍遙歌を声高々に斉唱し幕を閉じました。

(辻尾副支部長)

河内長野支部総会に参加して

平成19年7月8日(日)午後3時より、天然温泉「河内長野荘」において校友会河内長野支部(上奥雅勇支部長)の総会が執り行われ、お招きいただいた堺

支部からは天井支部長と私に参加いたしました。開会まえには和やかに名刺交換。そして総会に入り事業報告から次年度予算等まで滞りなく可決され各クラブなどの行事報告があった。

次に校友の河内長野副市長藤進氏の講演『河内長野市の現状』では千早赤阪村の編入合併問題等。

続く第2部では別室大広間に懇親会。ステージには若人達の吹奏楽団『ブルーイング』による学歌演奏で迎え入れられた。楽しい軽音楽の生演奏を満喫させて頂いた。

次に各来賓の祝辞があり懇親会に移る。季節料理に舌鼓を打ちながら校友同士、和やかに談笑した。

宴たけなわとなった夕暮れ時、恒例のビンゴゲームが始まる中、校友の「天野酒造」社長西條陽三氏がこの総会のために造り上げた日本酒「関大」オリジナルボトルが差し入れられ大好評であった。

また我が天井支部長にはラッキーにも上等の「天野酒」が当たりました。

いつもながら、河内長野

支部の活気溢れる総会ほんなニコニコ。そして終わりに皆で肩を組みあい恒例の逍遙歌の大合唱で散会となった。

(小島副支部長)

平野支部総会に出席

十一月十七日平野支部総会が、大阪寺田町の「フェイセス・ゲストハウス月華」で開催され、堺支部の代表として出席しました。

平野支部総会は、例年会員皆さんに依る手作り、アットホームな雰囲気溢れ、楽しい三時間余を過ごさせて頂きました。支部の motto、「本物や近隣支部との交流の輪を広げ、支部総会に出席して多くの校友と知り合って欲しい」を皆で実践、有意義な一日でした。

(武田副支部長)



大奮闘で5位入賞(団体戦)する 第23回支部対抗親睦ゴルフ大会

五月晴れの5月15日(火)兵庫県小野市・小野グラウンドゴルフにて第23回支部対抗親睦ゴルフ大会が支部27団体 参加人員230名で開催されました。
堺支部では河面関球会会長以下13名が参加。一昨年の団体優勝、昨年の準優勝

第19回関・関OBゴルフコンペ

10月10日(水)、爽快な天高く馬肥ゆる秋晴れの下、泉ヶ丘カントリー倶楽部にて関大13名関学16名の元気な笑顔が集い、関・関OBゴルフコンペを楽しみました。成績は関学に団体優勝を奪回されました。7ストローク差、残念……。個人戦も優勝、準優勝(関学、寺西氏、榎並氏)

第6回KUS関球会ゴルフコンペ

11月14日(水)、堺C・竹・梅コースにて参加者15名の精鋭で開催。優勝は長嶺光生氏、準優勝 古淵氏 三位 宇杉氏。優勝者

大阪狭山支部と戦う

第一回堺・大阪狭山支部対抗戦を九月二十一日堺カントリークラブで十二名参加の下、開催。楽しい秋の一日を過ごしました。今回は満足な準備、PRも充分出来ず、先ず第一歩を踏み出そうの掛け声で開きました。
成績発表
個人優勝 小松 宏(堺)
準優勝 高松健之(堺)
三位 速水史郎(狭山)
来年はPRを充分にし、多く校友の方々の参加を願えるよう準備します。乞うご期待下さい。
(武田 記)

平野支部 対抗戦 団体戦勝利・堺支部

第四回堺・平野支部対抗ゴルフコンペが九月二十一日春日台カントリークラブで開催され、参加一七名秋晴れの中、支部の名譽を賭け熱い戦いに挑みました。今年も、堺支部の九名は頑張ったのですが、個人戦は平野支部の北野さんに軍配

甲子園の季節が到来!

今年も、四回目を迎える甲子園球場年間予約席、関西大学校友会・堺支部(二席)確保できました。甲子園は第二次内野席のリニューアルを終え、スタンドを改修、シートの幅、足元の長さ

番席。一塁ベンチ右上方方向となり、今までと比べ十七段前となり、我がタイガースのベンチ、グラウンドに近づき応援に熱中できそうです。選手への激励コールは、選手の耳に届きハッスルプレーしてくれるでしょう。選手との距離が短くなり、熱くファイトむき出しの赤星、新加入の新井、アニキ金本、守護神・藤川の躍動

天神祭船渡御 奉拝船「関大丸」に乗船

7月26日(水) 最高気温32・6度 午後6時天満宮を関大の船を先頭に大阪大学の船、次に神戸大の船と



すれ違う奉拝船



天神祭の風景

出発しました(関西では3校だけです)。
関大丸は全員で156名でビール&焼酎&ウーロン茶&ジュース飲み放題&極上の弁当付で参加費が3万円です。
私の席は舞台から2列目の学長と理事長と斜め後ろの席で満足でした。
全員関大の法被を着ました。また通過する船にたして、手をたたいてお祝をするんですよ(大阪締め)。
天満宮に1隻に対して寄進額350万円です(すごいな)。

多分たくさん赤字になるでしょう(OBの寄付が) おおいから赤字補填されま(す)。
学長同士のエールの交換 & 女子応援団団長指揮のもとに学歌を斉唱。
市内中心部を流れる大川で約100隻による船渡御で能舞台の船&御神霊を乗せた御鳳輦奉安船&かがり火の船はやて漕ぎの船&大迫力だった催太鼓の面々が乗る『催太鼓船』阪神タイガースの球団船&河内江州音頭研究会の船。
水上をステージにした火

と水、光と影、静と動が浑然一体となった大阪ならではの祭典がはじまりました。
川岸に設けられた観覧席はこの日を待ち望んでいた市民や観光客、外国からの

旅行者などでいっぱい。
天神祭りの呼びもののひとつ、花火が夜空に大輪の花を咲かせて船渡御のハイライトシーンを盛り上げました。(田頭 記)

事業部見学会に参加

昨年、11月10日(土)、校友会主催の第35回事業部見学会「明石城と時の道を訪ねて」に堺支部から家族同伴を含む8名が参加した。

当日は絶好の晴天に恵まれ、早朝より各自電車を利用し、明石城正面入口に集合した。3班に分かれ、地元ボランティアガイドの説

明付きで、明石城跡から本松寺、柿本神社など数々の史跡を散策。その後、日本の子午線が通る「明石天文

科学館」を見学した。昼食は「人丸花壇」で地元明石関大クラブの方々の温かな歓待を受け、楽しいひとときを過ごした。会場には、特別に、地元明石出身で元阪神タイガースの名プレイヤーであった校友の大津淳氏も出席され、挨拶に一同大いに盛り上がった。午後からは「魚の棚商店街」に行き、新鮮な鯛や蛸を土産に、堺への帰路についた。(依田 記)

「2008スプリングフェスティバル」に参加して

校友、教職員、現役学生を含めたオール関大人の春のイベント「スプリングフェスティバル」桜の母校によつて「催太鼓船」に堺支部として4月の関親会を兼ねて千里山キャンパスに集まる。阪急千里山線関大前駅下車して、人の流れに流され

てキャンパスに到着する。まず青空と緑を創出する開放感あふれる「悠久の庭」で茶道部現役学生のお手前での歓迎を受けて、野点と俳句という心癒される雰囲気、お茶と和菓子を楽しむながら発句に興じ、心満たされる一刻を過ごす。



「豊臣期大坂図屏風復元陶板」の説明を受ける

千陵に
三代学ぶ
花の雲
三代の
笑顔栄えし
花の宴
喘ぎ坂
励ましつづけ
桜咲く

その後、第2学舎3号館D301教室の関親会の会場へ。昼食後、千里山中央グラウンドの歓迎セレモニーに出席する。校友会会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶に続いて、応援団により演舞、演奏が華やかに演じられ、お別れに校友一同がスタンドにて肩を組んでの逍遙歌の合唱に学生時代にタイムスリップした一刻となる。
学生歌
宙へ届けと
花の雲
その後、博物館にて、世紀の発見といわれている高松塚古墳の美術陶板を学芸員の説明を受け鑑賞した。併せて「天目 宙への誘い 木村盛康陶芸展」「豊臣期大坂図屏風復元陶板」を鑑賞する。その後三三五五の流れ解散となる。文化遺産に囲まれた有意義な一日となる。(小川 記)

堺・うまいもんめぐり

セリア・ハウス・やまと屋・パパス シリーズ③



「やまと屋」

南米料理専門店

『セリア・ハウス』

(純日系ブラジル・レストラン)

ブラジルのおやつからジュラスコまで多彩なメニュー。土日限定のシユラスコバイキングは大きな串に刺して焼いたお肉の塊を目の前で切ってくれます。是非ご賞味下さい。(平日不可)

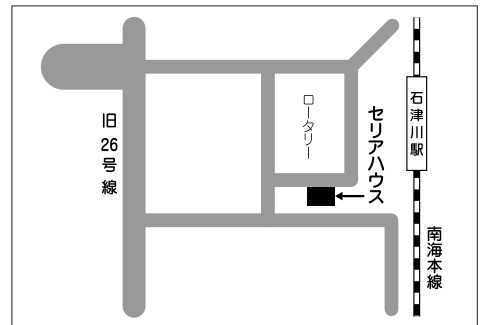
場所

堺市西区浜寺石津町西2丁3-11
南海本線「石津川駅」西出口より高架沿いを北向

新世界串かつ

『やまと屋』

平成十五年オープン。堺東界隈に最近テレビでお馴染



き二つ目を左折。次の四辻右角
TEL (072) 二四七二二八八五

染、新世界名物の串かつ店『やまと屋堺東店』が有ります。店内はカウンターと3席のテーブル、それに2階は座敷で、毎日近くのサ

ラリーマンを中心にも満席状態。料理作りは、店長が一人で大奮闘。名物串かつを筆頭にホルモン焼・各種鍋ものその他メニューは何と四百種類の多さ、注文するのに迷う程。一度「ピリケンさん人形」に会いに来て下さい。

サービス

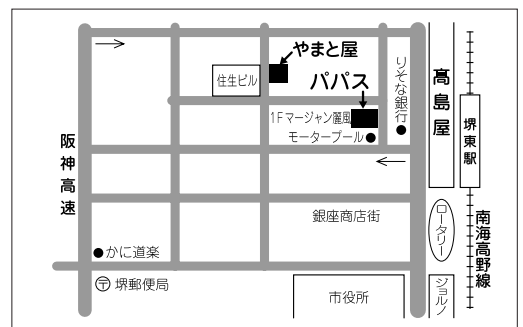
生ビール二杯で小ジョッキ一杯無料
日本酒二合で一合が無料
営業時間 十一時半～十四時 (日替400円・定食500円)

場所 十七時～二十三時(予約もOK)
堺区北瓦町二-三-三

TEL 二二九一八八八五

支部二次会の店 スナック『パパス』

堺東りそな銀行東隣り、麗風ビル2階のラウンジ風で雰囲気満点なお店スナック『パパス』。店内はカウンターと広々としたボックス席で三十名程が利用可。恒例の支部懇親会『関親会』



の後は、有志が直行。セット料金(歌い放題)二千元とすぐリーズナブル。美人?ママの温かな心遣いがうれしいお店です。

場所 北瓦町二-二-一六
TEL 二二三一四五八一




スナック「パパス」

スナック Papas

岩崎 巳奈甫

〒590-0076
堺市堺区北瓦町2丁2-16
麗風ビル2F
TEL (072) 223-4581

代表取締役



株式会社 榎や

竹内 一二 (57年社卒)

〒590-0951 大阪府堺市堺区市之町西三丁目二番十一号
<http://www.unagiya-takeuchi.co.jp>
 E-mail: kenjizujii@unagiya-takeuchi.co.jp
 TEL (072) 211-1111 1111-1111 1111-1111
 FAX (072) 211-1111 1111-1111 1111-1111
 〒590-0942 大阪府堺市北区大豆塚町一丁目十九番地の十五
 TEL (072) 257-1333 257-1333 257-1333

生き生き・い〜気
健康 自立 介護



〒590-0950 堺市堺区甲斐町西3-3-11
 Tel. 072-221-2000
 ホームページアドレス
<http://www.01nablehouse.com>


交通案内

電車・バスの場合
 ●南海本線「堺駅」南口より東へ
 ●南海シャトルバス「堺駅前」バス停、東へ徒歩3分

お車の場合
 ●フェニックス通「住吉橋」大同生命角北入る

社会福祉法人 美和会
 ホテル形式ケアハウス美和

理事長 中井 敬



事務所 堺市南区三木閉五七番地
 〒590-0504 電話 (072) 290-0101 290-0504
 FAX (072) 290-0101 290-0504
 自宅 堺市南区三木閉一〇二番地
 〒590-0504 電話 (072) 291-0377 291-0377

代表取締役 隅谷 哲三



八田工業株式会社

ISO9001
 ISO14001
 認証取得

〒599-8265 堺市中区八田西町二丁目八番四〇号
 電話 堺 (072) 277-7373 277-7373 (代)
 FAX (072) 277-8960 277-8960

物流で全国を結ぶ
 倉庫・運送・保険・不動産

佐野倉庫株式会社


堺市堺区山本町五丁一〇九
 電話 072-2229 4781

代表取締役 田中松次郎

田中鋼材興業株式会社

堺市南区豊田七三五十五
 TEL 072-2927 7211 代
 FAX 072-2927 6836

特撰黒和牛




本社 〒590-0855 大阪府堺市堺区西湊町六丁七ノ二
 TEL 072-2451008 八
 FAX 072-2451660 八

関西大学校友会堺支部長
 関西大学(大学院)博修士会名誉会長
 阪南大学名誉教授

天井 一夫

郵便番号五九九一八二二
 堺市東区日置荘北町二丁目五番二六号
 電話 FAX 072-2850 2633



平成十九年度 関西大学教育後援会 会長

税理士 古淵 孝仁 (昭和五十五年法学部卒)

古淵税理士事務所
 〒590-0952 堺市堺区市之町東三丁目二番二十二号
 TEL (072) 211-1676 7
 FAX (072) 211-1349 9
 E-mail: furubuchi.ao@iris.ocn.ne.jp

工作機械 販売及修理
 鍛圧機械

二見精機株式会社

二見 祐司

〒590-0033 大阪府中央区谷町六丁目二二三七
 TEL (06) 67611177 七七番
 FAX (06) 67611161 六二七七番
 携帯 090-1327011 一六六番

代表取締役 宮 嘉 博

大阪食品株式会社

宮 嘉 博 (昭和三十三年法学部卒)

〒592-8333 堺市西区浜寺石津町西二丁七一〇
 TEL (072) 247-1317

石碑・石材工事

石種 小路口 石材店

梅田 弘

堺市堺区賑町四丁目一十二
 (電) 堺 二三三-四八四三

河上泰廣法律事務所

弁護士 河上泰廣

〒590-0076 堺市堺区北瓦町2丁4番16号
堺富士ビル4階
TEL (072)223-0151(代表)
FAX (072)223-6727

大阪ガスグループ

ちょっとした修繕工事から増改築工事まで
住まいのリフォーム専門店

堺市上下水道指定工事店
中辻住機設備(株)

堺市堺区一条通3-22 ☎0120-20-5921

調査・出願から権利化・紛争処理まで
知的財産を総合的にサポート
中尾真一特許事務所

特許 考案 意匠 商標

〒590-0971 大阪府堺市堺区栄橋町1丁5番2号 YSビル2F
TEL 072-221-0848 FAX 072-223-7986

社是 光は永遠に新しい SINCE 1950

Titan&Semicon Sanitarygoods Dreamfactory

宇宙の夢から 女性の神秘まで 男のロマンを造形する 夢工場
光機械工業株式会社

代表取締役社長 長嶺光生 昭和50年 法卒

〒551-0031 大阪市大正区泉尾5丁目18番8号

TEL(06)6552-5055(代) FAX(06)6552-9110 URL http://www.hikari-kikai.com

☆主要営業品目☆ 半導体製造装置・太陽電池製造装置部品・特殊金属部品
サニタリー商品製造機部品・真空ポンプ・固液分離機販売・各種装置設計製作



小島土地家屋調査士事務所

所長 小島 秀明
土地家屋調査士 登録大阪 1737号

〒590-0046
堺市堺区三条通5番24号
TEL 072-223-6456
FAX 072-222-3590



富田電機株式会社

営業部長 富田 尚典

平成5年工学部金属工学科卒

〒590-0809 堺市堺区旭ヶ丘北町2-4-7
TEL 072-241-1508(代)
FAX 072-244-5239

富田電機グループ

株式会社テック

〒590-0809

堺市堺区旭ヶ丘北町2-4-7

TEL 072-241-1533

テックエンジニアリング株式会社

〒590-0809

堺市堺区旭ヶ丘北町2-3-13

TEL 072-244-0848

テックサービス株式会社

〒590-0809

堺市堺区旭ヶ丘北町2-3-20

TEL 072-244-7789

住いの塗装

吹付タイル・建築塗装・防水工事

技術・誠意・信用の
有限会社 阪神美装

〒590-0016 堺市堺区中田出井町1丁1番4号

TEL.072(223)0360 担当 間宮健二
FAX.072(222)4601 担当

見積無料
ローン可

株式会社 トランスネット

取締役会長 星野 伸次

〒550-0005 大阪市西区西本町2丁目5-29

第二大華ビル302号室

TEL 06-6541-3101

FAX 06-6541-3107



株式会社 ダイネツ

代表取締役 葛村和正



ISO9001 認証取得

〒590-0930
大阪府堺市堺区柳之町西3丁3番1
TEL 072-229-0223
FAX 072-229-0226

介護施設 ひがしやま

- ・グループホーム18名
- ・デイサービスセンター20名
- ・訪問介護ステーション
- ・居宅介護支援事業所

株式会社 コミュニティ

〒599-8247 堺市中区東山719-1 ☎072-230-0307 FAX 072-230-0308

◎介護については、なんでもご相談してください

TKC全国会

わが国最大級の職業会計人集団

代表取締役/税理士
小野佳代
KAYO-ONO

小野財務コンサルタント株式会社
小野佳代 税理士事務所
小野佳代 行政書士事務所
〒590-0957 堺市堺区中之町西1丁1番10号 堀ビル内
Telephone: 072-221-4600
Facsimile: 072-221-5565
Mobilephone: 090-2705-5274
E-mail onokayo@tkcnf.or.jp
ホームページ http://www.onokayo.jp

御菓子司

(株) 丸市菓子舗

本店 〒590-0952 堺市堺区市之町東1丁2-26

TEL 072-233-0101(代)

主な年間スケジュールのお知らせ

平成20年 4月22日(火)	KUS 関球会ゴルフコンペ
5月20日(火)	支部対抗親睦ゴルフ大会
5月24日(土)	春の逍遥の会(大鳥大社~紀州街道)
6月21日(土)	平成20年度堺支部総会
7月中旬	対抗戦(大阪狭山・平野・堺)親睦ゴルフコンペ
8月中旬	一泊懇親旅行(予定)
10月初旬	堺関・関OBゴルフコンペ
11月中旬	KUS 関球会ゴルフコンペ
11月下旬	秋の逍遥の会
12月5日(金)	支部忘年会
	南海グリル「ポピア」
毎月中旬	月例懇親会「関親会」を開催

平成20年度 支部総会のご案内

日時 6月21日(土)
場所 『リーガロイヤルホテル堺』

1部総会
午後5時より

2部懇親会
午後6時より
踊り
オークション
抽選会

会員の皆様お誘い合わせの上、多数ご出席下さい。

天神祭船渡御

奉拝船「関大丸」乗船者募集

校友会事業部が昨年の継続事業として日本三大祭りの一つに数えられる、天神祭りの船渡御に奉拝船「関

広報委員会から

原稿募集のお知らせ

明日の堺は変わる

シャープ特需(世界最大の液晶工場建設中。新型路面電車平成二十二年開業を目指す)

関西大学新キャンパス・堺区香ヶ丘町へ

(市立堺商業高校・第二商業高校跡地)へ進出

平成十八年四月に政令都市としてスタートした私達の堺市は大きく変わろうとしています。この堺で活躍

する千陵の丈夫OB・OGの皆さんが結集する堺支部

の発展を支える大きな柱となる堺支部会報とするため

に堺支部広報委員会から皆さんへの原稿募集のお願い

です。

自作のエッセイ(随筆、随想、散文等)短歌、俳句、

年会費振込のお願い

最近支部では、各種同好会をはじめとする支部活動、並びに会報の発行、ホームページの維持・管理等に関し費用の捻出に苦慮しております。

つきましては、平成二十年分の支部年会費三〇〇〇円(平成二十年四月一日~同二十一年三月三十一日)を誠にお手数ですが、同封の郵便振込用紙をご利用の上、ご送金下さいませよう何卒よろしくお願い申し上げます。

編集後記

会報23号発行に際し、ご寄稿いただいたり情報提供いただき、また広告掲載にご協力いただきました校友、企業の皆様にお礼申し上げます。

本号発行のため第一回編集委員会を二月七日に開き、原稿・広告の依頼先を確認し、原稿・広呈がほぼ集まったところで四月一日の第二回編集委員会で原稿の割り付けを行い、その後校正を重ね、五月中旬の発行にこぎつきました。

表紙の写真は前号に引続き堺の古墳群の一つである反正陵と堺市臨海に建設中のシャープの工場で、高沖

さんが寒い時期に撮影に出向かれたものです。

東西南北は近くて遠い国、中国と日本の関係を取り上げました。

会報の連載となりました事業所訪問、堺うまいものめぐり、それに校友の近況シリーズは、今後も回を重ね、校友の方々の交流、親睦を深めるための情報発信源として活用いただければ幸甚です。校友の皆様の協力を得てよりよい会報に育てて行きたいと念じています。

今号の発行に携った堺支部広報委員は小川、鈴木、高沖、武田、辻尾、中尾、鍋島、福江、依田の九名です。

訃報

大崎 光夫氏(昭45年法卒)
加賀谷忠夫氏(昭28年経卒)
八尾五三男氏(昭36年経卒)
大崎 菊雄氏(昭15年専商卒)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
合掌

